

コンフィギュレーション ファイルのバックアップと復元

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[コンフィギュレーションのバックアップの作成](#)

[バックアップと復元に TFTPサーバを設定使用して下さい](#)

[バックアップと復元に FTP サーバを設定使用して下さい](#)

[バックアップと復元に終端エミュレーションプログラムを設定使用して下さい](#)

[Kron 方式を使用して設定の自動バックアップ](#)

[TFTPサーバへのバックアップコンフィギュレーション](#)

[確認](#)

[関連情報](#)

[はじめに](#)

ルータのアップグレードや交換は、さまざまな理由で行われます。このドキュメントでは、ユーザを対象に、既存のルータから新しいルータへ設定を移行する基本手順のいくつかを説明します。

[前提条件](#)

[要件](#)

このドキュメントの情報を使用する前に、次の要件を満たしていることを確認してください。

トリビアル ファイル転送プロトコル (TFTP) またはファイル転送プロトコル (FTP) サーバにアクセスして下さい。

接続 : ルータは FTP または TFTP サーバにアクセスできる必要があります。接続を確認する ping コマンドを使用して下さい。

[使用するコンポーネント](#)

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してくだ

さい。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

コンフィギュレーションのバックアップの作成

バックアップと復元から選択すべき複数のメソッドが設定あります:

[TFTPサーバを使用して下さい](#)

[FTPサーバを使用して下さい](#)

[終端エミュレーションプログラムを使用して下さい](#)

[Kron方式を使用して設定の自動バックアップ](#)

[TFTPサーバへのバックアップコンフィギュレーション](#)

バックアップと復元に TFTPサーバを設定使用して下さい

これはから TFTPサーバ、および別のルータにに設定をルータ コピーし直すステップバイステップ アプローチです。この方式を続行する前に、IP接続があるネットワークの TFTPサーバを持つために確かめて下さい。

Router> プロンプトで enable コマンドを発行し、プロンプトが表示されたら必要なパスワードを入力します。

プロンプトは示す Router# にルータはイネーブル モードに今あることを変更します。

TFTPサーバに実行コンフィギュレーション ファイルをコピーして下さい:

```
CE_2#copy running-config tftp:
Address or name of remote host []? 64.104.207.171
Destination filename [ce_2-config]? backup_cfg_for_my_router
!!
1030 bytes copied in 2.489 secs (395 bytes/sec)
CE_2#
```

テキストエディタが付いているコンフィギュレーション ファイルを開いて下さい。を検索し、「AAA から」開始する行を削除して下さい。

注: このステップはルータからロックできる security コマンドを取除くことです。

TFTPサーバから基本設定がある特権 (イネーブル) モードの新しいルータにコンフィギュレーション ファイルをコピーして下さい。

```
Router#copy tftp: running-config
Address or name of remote host []? 64.104.207.171
Source filename []? backup_cfg_for_my_router
Destination filename [running-config]?
Accessing tftp://10.66.64.10/backup_cfg_for_my_router...
Loading backup_cfg_for_router from 64.104.207.171 (via FastEthernet0/0): !
[OK - 1030 bytes]

1030 bytes copied in 9.612 secs (107 bytes/sec)
CE_2#
```

バックアップと復元に FTP サーバを設定使用して下さい

このプロシージャでは、FTP サーバは TFTPサーバの代わりに使用することができます。

Router> プロンプトで enable コマンドを発行し、プロンプトが表示されたら必要なパスワードを入力します。

プロンプトは示す Router# にルータはイネーブル モードに今あることを変更します。

FTP のユーザ名とパスワードを設定します。

```
CE_2#config terminal
CE_2(config)#ip ftp username cisco
CE_2(config)#ip ftp password cisco123
CE_2(config)#end
CE_2#
```

コンフィギュレーションを FTP サーバにコピーします。

```
CE_2#copy running-config ftp:
Address or name of remote host []? 10.66.64.10
Destination filename [ce_2-config]? backup_cfg_for_router
Writing backup_cfg_for_router !
1030 bytes copied in 3.341 secs (308 bytes/sec)
CE_2#
```

テキストエディタが付いているコンフィギュレーション ファイルを開いて下さい。 を検索し、「AAA から」開始する行を削除して下さい。

注: このステップはルータからロックできる security コマンドを取除くことです。

FTP サーバから基本設定がある特権 (イネーブル) モードのルータにコンフィギュレーション

ン ファイルをコピーして下さい。

```
Router#copy ftp: running-config
Address or name of remote host [10.66.64.10]?
Source filename [backup_cfg_for_router]?
Destination filename [running-config]?
Accessing ftp://10.66.64.10/backup_cfg_for_router...
Loading backup_cfg_for_router !
[OK - 1030/4096 bytes]
1030 bytes copied in 13.213 secs (78 bytes/sec)
CE_2#
```

バックアップと復元に終端エミュレーションプログラムを設定使用して下さい

ターミナル emulation プログラムはバックアップと復元に設定使用することができます。これは Microsoft ハイパーターミナル ターミナル エミュレーションソフトウェアを使用してプロシージャの説明です:

設定が別のルータからコピーされる必要がある場合コンソール または Telnet を通ってそのルータに接続して下さい。

Router> プロンプトで enable コマンドを発行し、プロンプトが表示されたら必要なパスワードを入力します。

プロンプトは示す Router# にルータはイネーブル モードに今あることを変更します。

ルータを 1 画面よりもむしろ全体の応答を、すぐに返すために強制するために terminal length 0 コマンドを一度に発行して下さい。

これは無関係なしで設定をキャプチャすることを可能にします --more-- ルータが 1 画面一度に対応する時生成されるプロンプト。

HyperTerminal メニューで、Transfer > Capture Text の順に選択して下さい。

Capture Text ウィンドウは現われます。

名付けて下さいこのファイル「config.txt」。を

Capture Text ウィンドウを退去させ、キャプチャを始めるために『Start』をクリックして下さい。

show running-config コマンドを発行し、ルータが応答を完了するまで待機します。 見ます:

```
Router#copy ftp: running-config
Address or name of remote host [10.66.64.10]?
```

```
Source filename [backup_cfg_for_router]?
Destination filename [running-config]?
Accessing ftp://10.66.64.10/backup_cfg_for_router...
Loading backup_cfg_for_router !
[OK - 1030/4096 bytes]
1030 bytes copied in 13.213 secs (78 bytes/sec)
```

CE_2#

設定によって続かれる。

HyperTerminal メニューで、スクリーンキャプチャーを終了するために Transfer > Capture Text > Stop の順に選択して下さい。

あらゆるテキストエディタで作成した Notepad またはワードパッドのような config.txt ファイルを、開いて下さい。

を検索し、「AAA から」開始する行を削除して下さい。

注: このステップはルータからロックする可能性がある security コマンドを取除くことです。

ファイルを保存します。

そのコンフィギュレーションが必要なルータに接続します。

config.txt ファイルを開いて下さい。

config.txt ファイルの内容全体を選択して強調表示します。

ファイルの最後の文字の後でに最初の文字の前からのカーソルの抗力によってこれを左マウスボタンを維持している間することができます。また Notepad を使用すれば、メニューから Edit > Select All の順に選択することができます。

選択したテキストを Windows のクリップボードにコピーします。

テキストエディタ メニューから > コピー 『Edit』 を選択 することができますまたは CTRL キーを維持し、コピーを行うために同時に C キーを押して下さい。

HyperTerminal ウィンドウに切り替え、Router# プロンプトで **configure terminal** コマンドを発行して下さい。それから 『Enter』 を押して下さい。

HyperTerminal メニューのホストに 『Edit』 を選択 することによってルータにコンフィギュレーション ファイルを > ペースト貼り付けて下さい。

設定が貼り付け終えた、ルータがコンフィギュレーション プロンプトに戻す後、メモリに設定を書き込むために **copy running-config startup-config** コマンドを発行して下さい。

Router# プロンプトに戻るために **exit** コマンドを発行して下さい。

Kron 方式を使用して設定の自動バックアップ

23:00 で startup-config に running-config を、たとえば各日曜日はコピーするためにルータを得るためにこれらのステップを完了します:

kron ポリシーを作成して下さい **list** —これがどんなコマンドをルータがスケジュールされた時間に実行する必要があるかリストするスクリプトの。

```
Router(config)#kron policy-list SaveConfig
Router(config-kron-policy)#cli write
Router(config-kron-policy)#exit
```

CLI — コマンドスケジューラ ポリシー リスト内の EXEC CLI コマンドを規定します。

ポリシー リスト—コマンドスケジューラ 発生と関連付けられるポリシー リストを規定します。

注: なぜ書きなさいか理由は **copy running-config startup-config** よりもむしろ **kron** が対話型プロンプトをサポートしないし、**copy running-config startup-config** コマンドが相互対話を必要とするということであるといえます使用されました。コマンドを作成するときこれを覚えていることは重要です。また **kron** が設定コマンドをサポートしないことに、注目して下さい。

作成して下さい kron occurrence —これは頻繁にポリシーがいつ、どのように動作する必要があるルータを知らせます。

```
Router(config)#kron occurrence SaveConfigSchedule at 23:00 Sun recurring
Router(config-kron-occurrence)#policy-list SaveConfig
```

SaveConfigSchedule —これは発生の名前です。発生名前の長さは 1 から 31 文字からです。発生名前が新しい場合、発生 構造は作成されます。発生名前が新しくない場合、既存の発生は編集されます。

発生が規定された日付および時に動作することであること **AT** —識別します。

繰り返し—発生が繰り返し基礎で動作することであること識別します。

show コマンドの使用によって **kron** 設定を確認して下さい。

```
Router#sh kron schedule
```

Kron Occurrence Schedule

SaveConfigSchedule **inactive**, will run again in 1 days 12:37:47 at 23:00 on Sun

非アクティブ— kron がコマンドを現在実行していないことを意味します。

アクティブ— kron が現在のコマンドを実行していることを意味します。

```
Router#show running-configuration
```

```
    kron occurrence SaveConfigSchedule at 23:00 Sun recurring
    policy-list SaveConfig
    kron policy-list SaveConfig
    cli write
```

TFTPサーバへのバックアップコンフィギュレーション

この例は TFTPサーバ (10.1.1.1) 23:00 へ実行設定をの各日曜日保存することです:

```
Router(config)#kron policy-list Backup
    Router(config-kron-policy)#cli show run | redirect
tftp://10.1.1.1/test.cfg
    Router(config-kron-policy)#exit
!
Router(config)#kron occurrence Backup at 23:00 Sun recurring
Router(config-kron-occurrence)#policy-list Backup
```

確認

コンフィギュレーション ファイルがデスティネーションルータにコピーされたことを確認する `show running-config` コマンドを使用して下さい。

関連情報

- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)